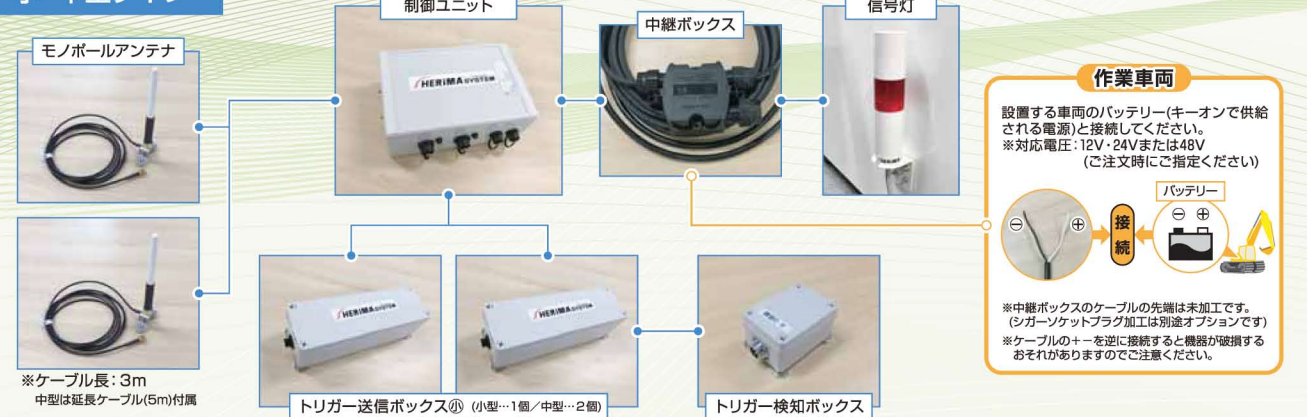
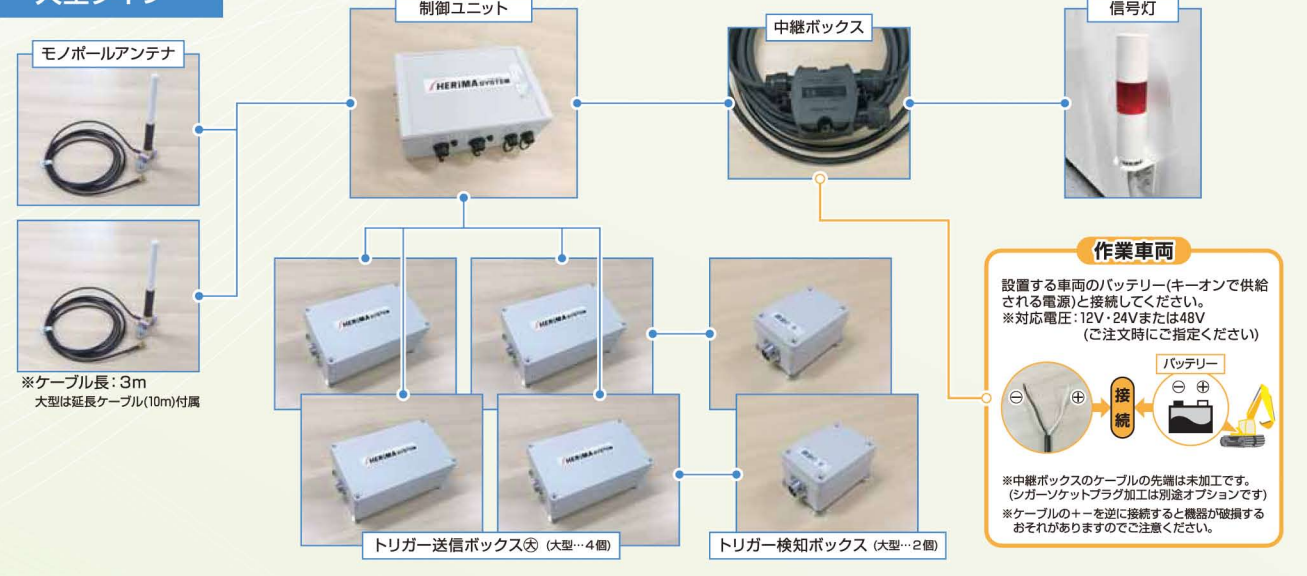


接続図

小・中型タイプ



大型タイプ



※モノポールアンテナのケーブル延長加工はオプションです。

設置場所について

①制御ユニット

天井やシート下など日常業務の邪魔にならない場所に設置してください。
※設置場所による検知距離や受信感度への影響はありません。

②トリガー送信ボックス

天井の中央に設置してください。
※複数台設置する場合は必ず同じ向きで80cm離して設置してください。

③トリガー検知ボックス

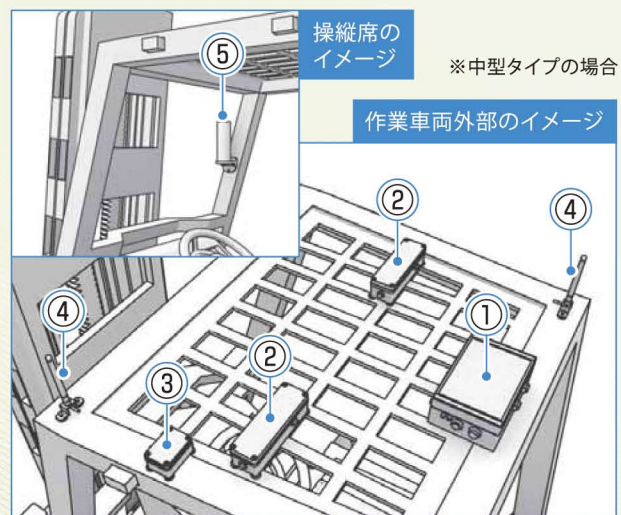
天井などに設置してください。
※パトライト・信号灯・LED照明の付近に設置するとノイズの影響で正常に動作しない
おそれがありますので可能な限り離して設置してください。

④モノポールアンテナ

トリガー送信ボックスの前後に2本設置してください。
※パトライト・信号灯・LED照明の付近に設置するとノイズの影響で受信が阻害される
おそれがありますので可能な限り離して設置してください。

⑤信号灯

オペレーターに見える範囲で任意の場所に設置してください。



※本製品は車両に接近する作業員または車両同士の接近をお知らせする安全補助装置です。車両と作業員または車両同士の事故を未然に防止するものではありません。

※本製品を設置する場所や方向によっては正常に作動しない恐れがあります。
※本製品の作動の有無にかかわらず車両と作業員または車両同士の事故が発生した場合の損害につきまして当社は一切責任を負わないものとします。
※本製品の意匠は改良のため予告なく変更する場合があります。

お問い合わせ先

HERIMA[®] SYSTEM

建設現場向け特殊無線

— ヘリマシステム —

「磁界」と「ICタグ」を用いて
重機等接触事故の
リスクを低減します



国土交通省
NETIS 登録製品
登録番号
KT-170001-A



赤色点滅時の様子
※内部用LEDに赤色フィルム装着時



システム概要

ヘリマシステムは作業車両と作業員の接近を検知し、信号灯やヘルメットライトなどを利用して作業員に知らせることを目的として開発されました。

ヘリマシステムの仕組み

作業車両の周囲に磁界を発生させます。その磁界内へ作業員や別の作業車両が侵入した場合、即座に感知して作業員と作業車両の両方に危険を知らせます。

※検知方式について
検知センサーにはアクティブタグを使ったものや超音波センサー、またカメラでの検知など様々な種類があり、その中からヘリマシステムはセミアクティブRFID方式を採用しています。この方式は発生させた磁界内でICタグを検知する非常に検知精度の高い技術で1/100秒の計測が必要とされるマラソン大会などで使用されている技術です。



作業車両側

●信号灯が点灯と同時に、電子ブザーの断続音を発信 (磁界外では消灯・消音)

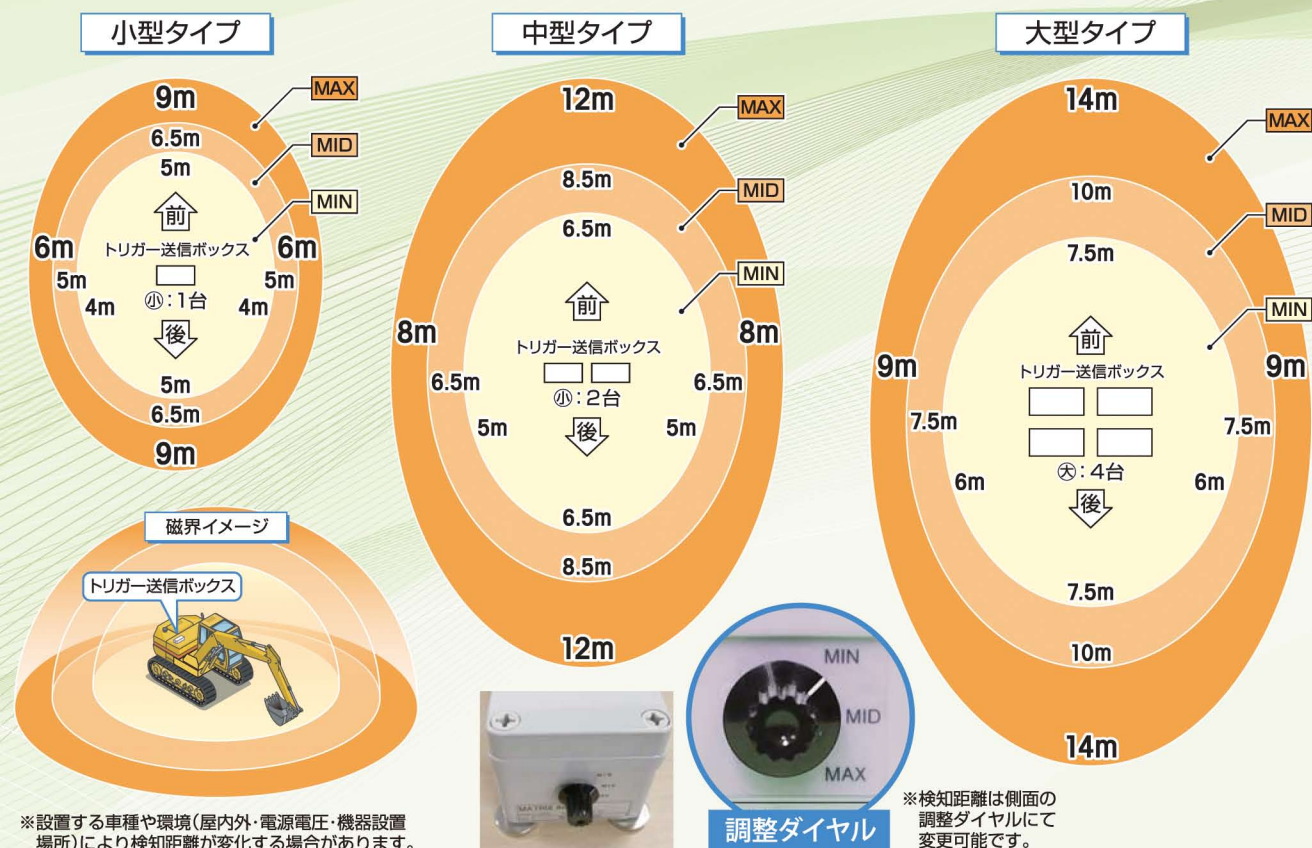
作業員側

●ヘリマ側面LEDが赤色点滅 (磁界外では緑色)
●内部用のLEDが点滅 (磁界外では消灯)

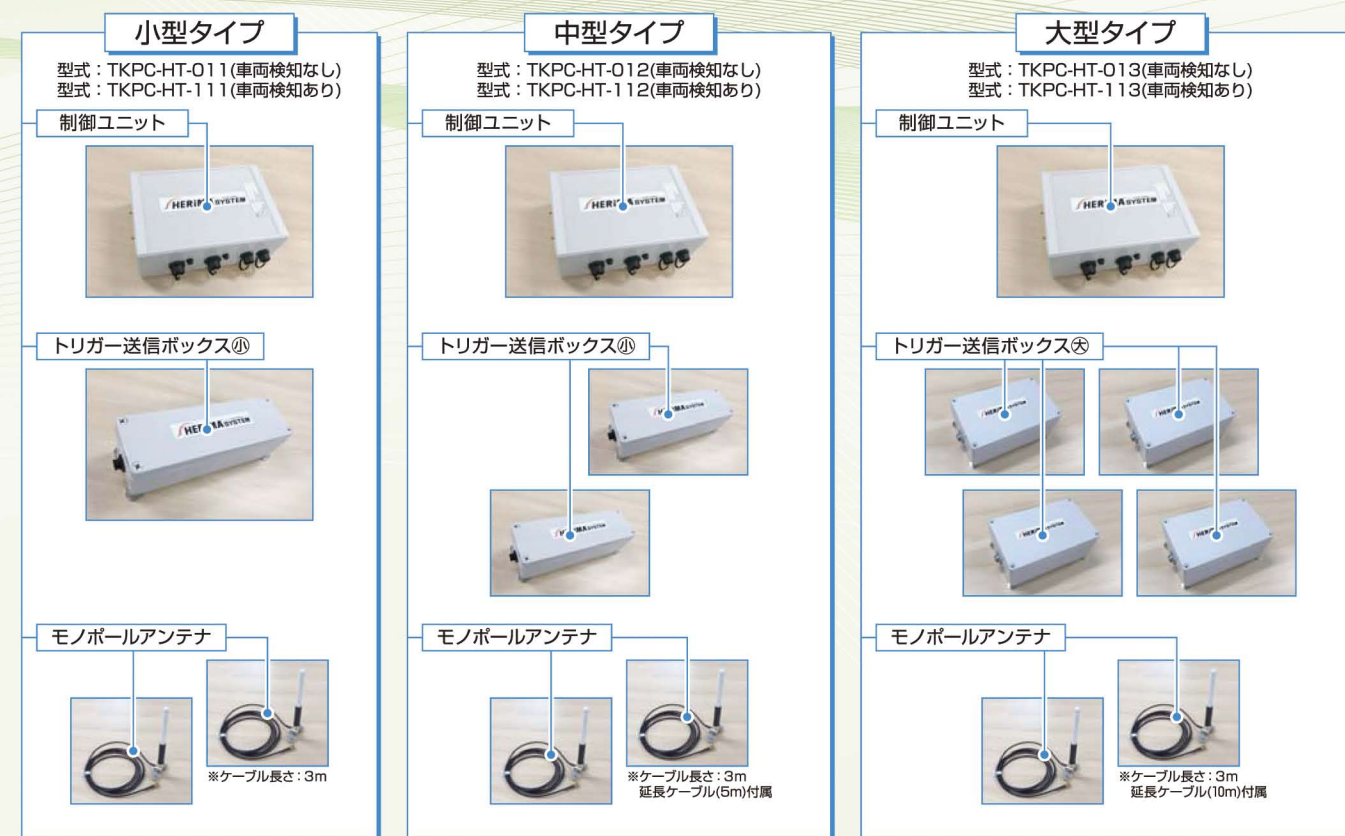


※信号灯・ヘリマ・ICタグはオプション品です。
※検知距離は取付車種や現況(屋内外・設置場所)により変化します。

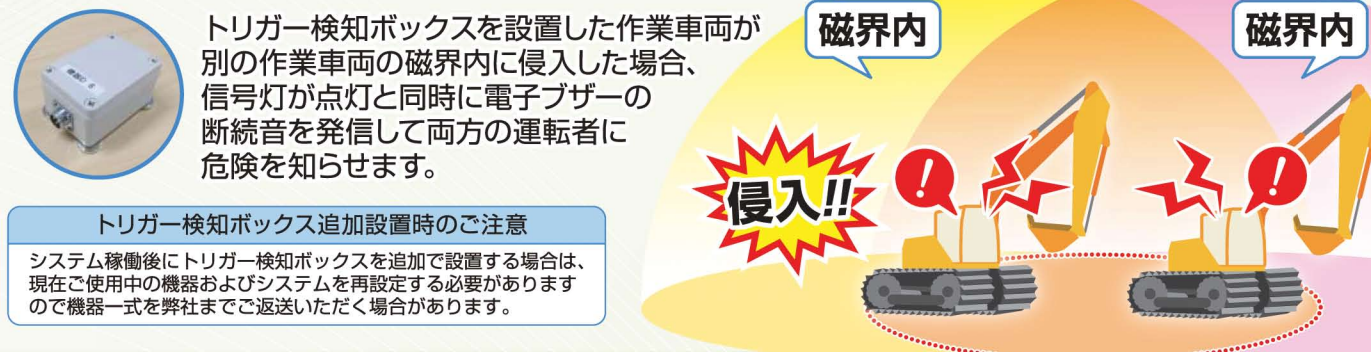
検知距離(トリガー送信ボックスからの距離)



システムセット内容(作業車両1台分) ※各セットには入出力ケーブル(長さ:5m)が含まれます。



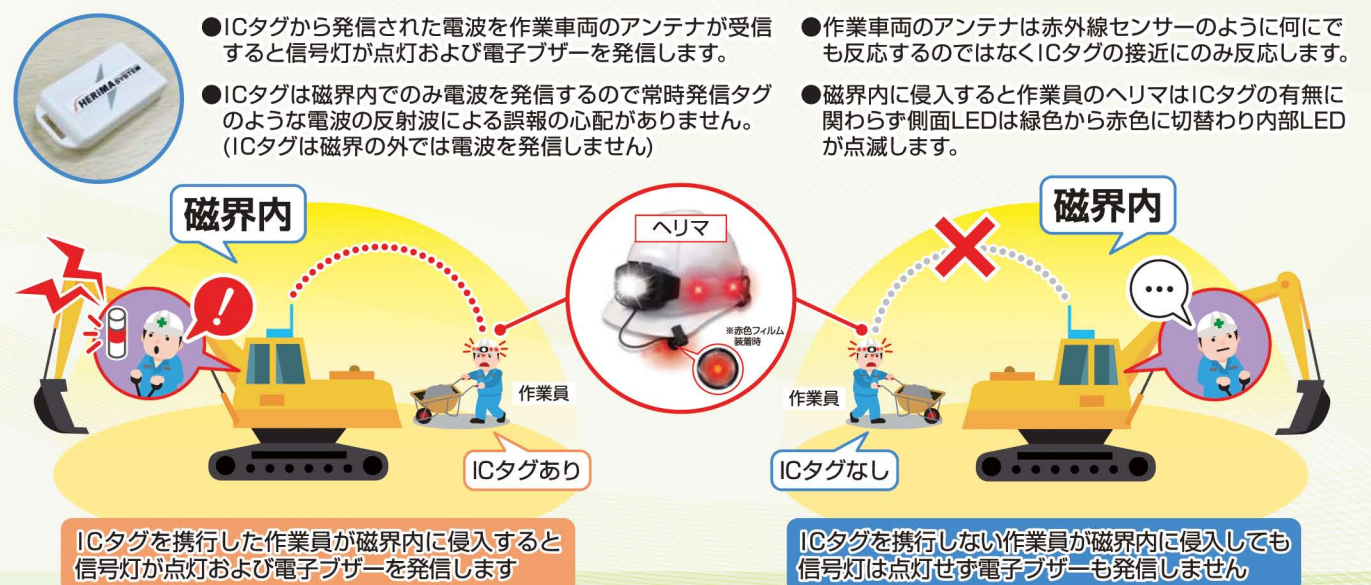
トリガー検知ボックスについて(オプション)



オプション(車両検知用)



ICタグについて(オプション)



オプション(作業員検知用)

